この記事がすごい! 毎日新聞今週のこだわり4本



2023年12月10日号

編集/毎日新聞社カスタマーリレーション本部

大病を乗り越え 俳優・佐野史郎さん

12月10日(日)=1、3面



俳優の佐野史郎さん(68)=写真 =は、血液のがんの一種、多発性骨 髄腫を患いました。2021年のことで した。入院当初は改善の兆しを見せ ていましたが、細菌に感染して敗血 症になってしまいました。高熱が続 いた時期があり「一時、死を覚悟し ました」と明かします。

闘病生活は病院の個室。小さなギ ターを持ち込んで、ミュージシャン でもある佐野さんは新曲をつくりま した。タイトルは「まどのそと」。

病室の外に出られない気持ちを込め た曲で、歌詞には「ふわりふわふ わ」とあります。「病室にいた自分 の状態を表現したのかもしれませ ん」と語りました。

大病を乗り越え、復帰。23日から 「新宿K's cinema」(東京都新宿 区) を皮切りに全国で上映される映 画「火だるま槐多(かいた)よ」に も出演しました。役柄を演じる上で 大事にしていることは?

ベテラン俳優の視線に迫ります。



生誕100年の歩み 12月10日(日)=総合面

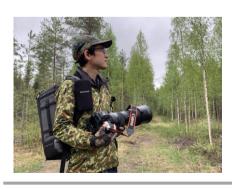
渋谷駅(東京都渋谷 区)の前にある「忠犬ハ チ公像」は、各地から集 まる大勢の人たちが待ち 合わせ場所に使ったり、 記念撮影をしたりします。 そのモデルとなった秋田 犬、ハチが今年11月に生

誕から100年を迎えまし た。亡くなったあるじの 帰りを待ち続けたハチは、 新聞記事をきっかけに-躍有名になりました。今 ある銅像は2代目。ハチ とハチ公像が紡ぐ100年 の歩みをたどります。



動物写真家が見るクマ大暴れ

12月12日(火)=夕刊2面



北海道でヒグマ、東北各地でツキノワ グマの被害が相次いでいます。自治体は 駆除を進めている一方、保護する立場か ら苦情も相次いでいると言います。世界 では、自然界に生息するクマとどう向き 合っているのでしょうか。北海道を拠点 に世界各国でクマなどの野生動物を撮影 している自然写真家の林祐介さん=写真 =に聞きました。

ろ毎た詳ひま申んす ンペ 0 z 込条末 ンペーンで ・するの n が満た L ・のの が 方 た L ・のの が あ が まし ・の の 締 め 切 ヤ分をプ たま切り ۲ 引き続れる方は、 たた。 澤 カに Aお m 申対 12 1

棉 0



かに全でてを なな国明い庁 かっのらた った美か問の府 たり術に題地が 館なが下美 と収もり毎駐術 集収ま日車作 曲の蔵 し新場品 が予がこの で 保 O 角が満実報管 5 」つ杯は道し点

案タ家い将 そします。 たります。 大切なコレクス たちが作品のでしょうかい 発信のでしょうかい かんしょうかい かんしょうかい かんしょうかい かんしょうかい かんしょうかい ます。 があれば ひまり 方術す

12 月 15 日 (金) =オピニオン面